

大学コンソーシアムやまがた 事業評価委員会 記録

日 時 平成21年10月19日(月) 13:30～14:30
場 所 山形大学事務局3階第一会議室
出席者 委員長 山崎 彰(山形大学)
委 員 飯島政雄(鶴岡工業高等専門学校) 表 實(東北公益文科大学)
柴田洋雄(放送大学山形学習センター)
原田富夫(県立産業技術短期大学校) 竹田耕平(県立農業大学校)
大平光子(県立保健医療大学) 井上慶次(県立米沢女子短期大学)
佐藤正幸(山形県学術振興課)
欠席者 委 員 高桑秀郎(羽陽学園短期大学) 山田修市(東北芸術工科大学)
佐藤 晃(山形短期大学)

議事に先立ち、委員長から、前回欠席だった井上委員の紹介があり、自己紹介が行われた。
次いで、オブザーバーとして山形大学大学連携推進室の横井教授(将来構想WG委員)が出席している旨報告があった。

議 題

1. 事業評価報告書について

(1) 前回会議以降の動きについて

事務局から、前回の会議以降に実施された、京都コンソ調査、アンケート調査、加盟校ヒアリング等について報告説明があった。

(2) 事業評価報告書(案)について

事務局から、資料1～資料8に基づき説明があった後意見交換が行われ、委員長から諮られた結果、了承された。

また、報告書の構成、内容は原則変えず、「大学コンソーシアム京都の調査報告」を加え、適宜表現は修正することが併せて了承された。

(主な意見内容)

- 会則による評価では、現事業への評価がなされていないのはどうしてか。満足度が高いということは効果があるということか。
- 満足度が低いというのは事業をやめるということではない。
- 資料2の中で表現が適当ではないようなものが見受けられるが、機関から提出されたものとしていいのか確認すべきだ。資料3は匿名としているので、そのことが覆るような表現が、見受けられるので整理されたい。

- 「教職員交流・連携事業とFD・SD」及び「地域活動事業と地域貢献事業」について、それぞれの違いはどういうものか。

2. 今後のスケジュールについて

事務局から、資料9に基づき説明があった後意見交換が行われた。

次いで、委員長から、審議結果を反映させた案を10月下旬に持ち回りにて審議を行うこととし、検討が必要な場合はTV会議を用いて行う旨諮られた結果、了承された。

3. その他

(1) 次回会議の開催について

次回会議は、今のところ設定していないが、必要に応じて日程調整の上開催し、今後はメールによる書面審議や現在整備中のTV会議システムを活用することとなった。

(2) 次のような意見交換が行われた。

- 放送大学山形学習センターでは、何らかの形でコンソーシアム事業に貢献したいと思っている。要望等があれば、教えてほしい。
- 就職支援については、県等の事業をもっと組み入れることができるので、県の方で情報提供をされたい。

(配付資料)

資料1～8 事業評価報告書(案)

- 資料1 はじめに
- 資料2 各機関意向調査
- 資料3 学長見解の聴き取り
- 資料4 意向調査による評価
- 資料5 学長見解による評価
- 資料6 会則による評価
- 資料7 事業評価のまとめ
- 資料8 むすび

資料9 将来計画の策定プロセス(案)

参考資料1 大学コンソーシアム京都訪問調査報告

参考資料2 大学コンソーシアムやまがた会則

以上